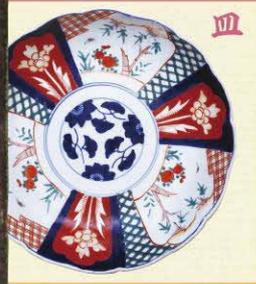
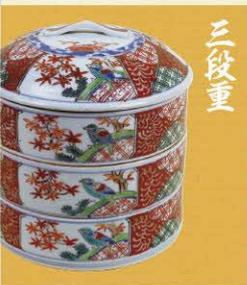




主婦の友社 / 主婦之友 付録



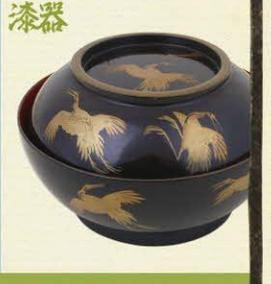
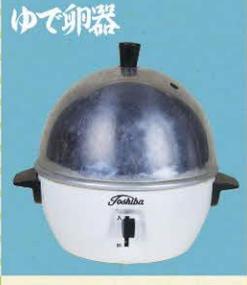
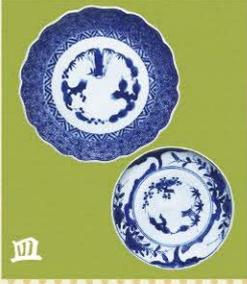
館蔵品展

「食べる」の道具



の道具

二〇二四年
四月二三日火
↓六月一五日土



「食べる」の道具体験イベント | 参加費無料 |

石臼、卵つとなど「食べる」の道具を体験してみよう！

5月 2日(木) 各日 午前10時~12時
12日(日) 場所: 中野区立歴史民俗資料館 研修室
25日(土) ※混雑状況により、お持ちいただく場合がございます。また、数に限りがあります。あらかじめご了承ください。



ふれざんと \お1人さま1枚/

「食べる」の道具 ご来館記念

「勝手道具」しおり

※数に限りがあります。なくなり次第終了とさせていただきます。

私たちの暮らしの中で一番身近な存在である「食べる」こと。

暮らしの様々な場面で登場する、調理する道具や食卓に上がる食器など、古代から現代にいたる、食べるための道具の歴史と移り変わりをたどります。

1 遺跡で見つかった食の道具

区内の遺跡から出土した、器であり調理具であった縄文土器や、食物を得るため、そして調理するための石器、中世から近世初頭のすり鉢や皿、砥石などの今に通ずる道具などを紹介します。

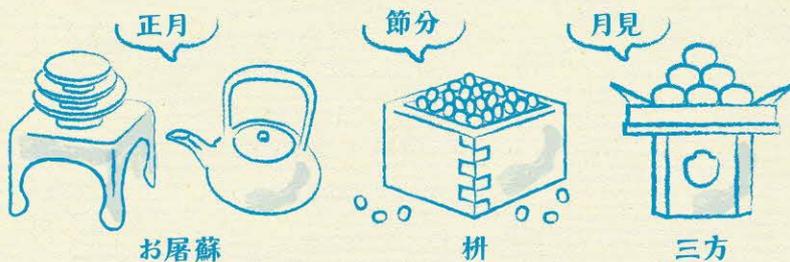


2 大正・昭和 日々の暮らしの道具

木や竹など自然の材質のものが、プラスチックなど石油製品に変わり、燃料も薪・炭から、ガス・電気へと変化していきました。技術の進歩等で移り変わっていった道具の変遷をたどります。

3 宴-うたげ-の道具

お祝い事や祭祀などで、家に集まって飲食する機会が多かった時代がありました。中野の旧家にも、10人分、20人分と、まとまった数の食器やお膳が残されています。どのような宴が催されたのでしょうか。



4 行事と食の道具

季節ごとの行事や、お食い初め、七五三など、一生に一度の行事など、様々な行事に“食”は欠かせません。正月〈餅〉、端午の節句〈柏餅〉といった、行事と行事の食、そしてその道具を紹介します。

山崎記念 中野区立歴史民俗資料館

掲載の展示・イベント等中止または延期、内容などが変更される場合があります。

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4 ■TEL(03)3319-9221 ■FAX(03)3319-9119

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

交通

- 西武新宿線「沼袋駅」北口より徒歩8分 ●都営地下鉄大江戸線「新江古田駅」より徒歩15分
 - JR「中野駅」北口より練馬駅行き(京王バス中92系統)「江古田二丁目」下車徒歩2分
 - JR「中野駅」北口より江古田駅行き(関東バス中41系統)「江古田二丁目」下車徒歩2分
- ※中12系統はとまりません
- 西武池袋線「練馬駅」北口より中野駅行き(京王バス中92系統)「江古田四丁目」下車徒歩5分

休館日 月曜日・第3日曜日

入館料 無料

開館の状況など、資料館の最新情報はホームページ等でご確認ください。

ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)

